

「日本文化体験交流会」を終えて

令和7年度の二大行事の一つである「日本文化体験交流会」は、7月12日（土）、札幌国際プラザを会場に開催されました。外国人ゲスト6名、会員15名、プラザ職員3名が参加し、盛大で和やかな交流のひとつとなりました。今回のプログラムは、浴衣の着付け体験、抹茶おもてなし体験、そして「北海盆踊り」の三本立てです。外国人ゲストだけでなく会員も楽しみ、「時間にゆとりがあり充実していた」との声が聞かれました。



まず、浴衣体験では、用意した浴衣や帯の中から好きなものを選び、色や柄の組み合わせを真剣に考える姿が印象的でした。髪飾りも添えて着付けを整えた後、全員で記念撮影を行いました。続いての茶道体験では、略盆点前のデモンストレーションを披露し、お菓子とお茶の頂き方を体験していただきました。ホスト役は上手に茶筌を扱いながら、ゲスト役は「お点前頂戴します」「美味しくいただきました」と笑顔で言葉を交わしていました。抹茶とお饅頭は大変好評で、おかわりを楽しまれる方もいらっしゃいました。一碗のおもてなしには、相手を思いやる心と、世界平和につながる“和の精神”が込められています。



最後は、提灯が揺れる中での盆踊り。掛け声を練習し、全員で輪になって踊りました。若い参加者と一緒に「マイム・マイム」も楽しみ、自然と笑顔がこぼれました。浴衣をまとい、抹茶を味わい、一緒に踊る—その一体感を通して、文化にふれながら心が通い合う時間となりました。お手伝いくださった渡辺様、そして息の合った連携で会を盛り上げてくださった皆様に心より感謝申し上げます。

国際プラザ様には開催にあたり「札幌ホームステイ協会」バナー制作にもお力添えをいただき、誠にありがとうございました。今後とも変わらぬご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

会長（研修幹事兼務） 細川 道子

～Tさん親子からの感想～

娘ともども楽しく有意義な時間を過ごさせていただきました。茶道、着付けの奥深さを知り、日本文化やそれを伝えていくことにますます興味をもちました。（母）

茶道は今まであまり触れたことがなく、実際の作法を学んだのは今日が初めてでしたが、相手への敬意を意識するということが興味深く勉強になりました。また最後に参加者全員で輪になって踊った北海盆踊りとマイムマイムは、踊るのが小学生以来ということもあり、とても楽しかったです。価値観や文化の違いを理解するには、知識だけでなく、自分から触れて一緒に楽しむ経験が大切であることを実感することができました。学校という学生にも身近な場所でもこのような活動を行い、より多くの学生にも価値観や文化の違いを実感してもらいたいです。（娘）



JENESYS2025 日本・インドネシア・タイ・マレーシア若手メディア関係者 政治・経済・文化交流（招へいプログラム）ホームステイ



インドネシア・タイ・マレーシアから16名の若手メディア関係者が、日本への理解を深めるとともに、関連施設の視察や文化体験を通じて、将来の友好・協力ネットワークを構築するために日本を訪れました。このうち、国際プラザのホームステイボランティア4家庭が8名のホームステイを受け入れました。交流のひとつときは、双方にとってかけがえのない時間となりました。

あるホストファミリー（西区・Nさん）の家庭での様子をご紹介します。

日時	行動内容	食事内容など
12/5 (金) 1日目	17:30 茶道体験&対面式	
	19:00 自宅へ向かう	車内では翻訳ツールにて、ぎこちない会話。
	20:00 夕食	お好み焼き・焼きそばを用意した。ジンギスカンも用意したが、お腹いっぱいでは食べられず。「fat, fat」と太ることを気にしていた。
	20:20 息子と対面	英語での会話。私は雰囲気を楽しむ。
	23:30 お二人シャワー	
12/6 (土) 2日目	8:00 起床	朝食を作っていると手伝ってくれた。味噌汁、卵焼きに挑戦してもらう。
	8:25 朝食	肉じゃが、焼き鮭、青菜和えなど。和食メニューを残さず食べてくれる。
	10:00 白い恋人パーク	からくり時計を見た後、お土産を買い、アイスを堪能。
	12:00 北海道神宮	希望された神宮へ。参拝とおみくじを引く。建物に興味があり見学する。
	13:15 円山動物園	閉園ギリギリまで一つ一つのエリアをじっくり見学。
	16:15 スシロー	お蕎麦が食べたいとなったが、JICEからアレルギーのリスクがあり食べないように言われたからとメニュー豊富なスシローに行く。
	17:50 イオンモール発寒	円山でお抹茶とお茶碗を買いたかったが、閉店時間となり、イオンで買い物をする。
	19:10 花火	寒空の中、小さな花火を遠くから見る。
	20:30 居酒屋(串鳥)	居酒屋に行ってみたくリクエストされたが、12月の週末で予約が取れず、海鮮のない串鳥となる。
	22:00 帰宅	おしゃべりは続く。
	23:15 お二人シャワー	
12/7 (日) 3日目	0:15 就寝	
	7:45 起床	9:30に家を出たいので、間に合うように起床してほしいとお願いする。
	8:15 朝食	昨日多かったようなので少なめにする。
	8:50 お二人シャワー	時間に間に合うかドキドキ。
	9:50 出発	道が空いていてびっくりに着く。
	10:30 歓送会	



Nさんから

15年ぶりにホームステイの受け入れをしました。滞在中は、小樽や定山溪で温泉に入り、ゆっくり過ごすのもいいなとも思ったりしました。

食事は手巻き寿司がいいかな、生ものは食べられるかな？お鍋も楽しそうだけど、同じ鍋をマイ箸でつつくのは抵抗があるかもと考え、話し合って決めることにしました。

ゲストのお二人は、9月に来日することが決まった時から、ずっと楽しみにしていたそうです。

東京に戻った日に青森県東方沖で地震があり、夜中にも心配して連絡をくれました。今はインスタで連絡を取りあい、私にとって良い刺激になっています。

思いやる気持ちは世界共通。争いのない世界を願っています。



「札幌マスジド訪問」に参加してきました

～マスジド様、国際プラザ様、担当の会員の皆様にお礼申し上げます～

国際プラザ主催の研修会イスラム教の礼拝所「札幌マスジド」への訪問は、イスラム教を信仰するムスリムのゲストの方々も多くなるなかで、ボランティアが食事を含む習慣の違いを理解したりボランティアの疑問を解消したりまた、ムスリムの方々に親近感を持ってもらい、今後の受入に役立ててもらいたいという目的で行われました。

気になるよね...

「何が食べられるの？食べられないものは？」、「お祈りはいつ、どこをするの？必ずするの？」、「女性を受け入れるときに気を付けることは？」

・本やニュースではわからない、ムスリムのリアルな日常の一端を垣間見ることができ、また、ハラールについての知識も深まり、実り多い経験となりました。(T.M.さん)

・絨毯の向きがメッカを向いていたり、マスジドでのお祈りの時間がデジタルで表示されていたりするなど、実際に行かなければわからないことを知ることができて、よかったです。(T.R.さん)

・普段なかなか体験できないモスクの見学とお祈りシーン、とても印象的でした！イスラムの世界が身近になった気がします。(M.K.さん)

・共存共生、まず私たちが寛容にならないといけないと思います。そのことについて国際プラザの行事はとても勉強になりました。イスラム文化も素晴らしいと思いました。(E.A.さん)

・普段行くことのないモスク内の見学。綺麗で立派でした！師のお話、お祈りをリアルタイムで見せていただき信仰について考える良い機会でした。宗教、人種に関わらず広い心の自分でいたいなと思いました。(K.M.さん)

・訪問にあたり、場所を調べましたら私の自宅に近いことに驚きました。こんなに近いのなら、イスラム教のゲストが来た時に連れて行ってあげられたのにと思いました。何度となく通っている道なのに、マスジドがそこにあることに今まで全く気づきませんでした。意識の差、今までは自分に関係のない場所であったため気にする事がなかった場所であり宗教でありました。今回見学をさせていただき、先生（指導者）のお話を聞いて自分にとって少し気になる場所であり宗教になりました。(Y.S.さん)

・触れたことのないイスラム教を肌で感じて直接お話を聞いたことで少し身近に感じました。また質問を沢山受けてくださったので知ることが多かったです。もっと聞きたかったのですが時間も限りがあったので残念でした。(N.Y.さん)

・マスジド訪問は私にとって初めての体験でした。一見、普通の建物に見えますが、中には綺麗なブルーの絨毯が敷かれ、天井には大きなキラキラ輝くライトがあり、そこにアラビア語が書かれていました。ムスリムは1日5回お祈りをする前に頭や手や足を洗うそうです。日本人が神社を参拝する時の手水に似ているなと感じました。今まで知らなかったことが学べて本当に良い時間を過ごすことができました。(N.T.さん)

・「札幌マスジド訪問」は素晴らしい行事でした。イマームの懇切丁寧なお話は、イスラム文化、コーランの教えに基づいた生活、お祈りの礼法、女性へのリスペクト、断食などなど隈なく紹介していただきました。あらためて異文化理解、違いの違いとして認め共存する大切さを学ぶ事が出来ました。特に感銘を受けたのは、親御さんと一緒にお祈りをする子どもの姿です。(会長 細川道子)



研修会のあと、会員間の交流会も行いました！

- ・ホームステイ協会のハラールの食事体験で一層文化に対する理解が深まりました。
- ・ハラール料理は3種類のカレー、チーズナン、マンゴージュースをいただきました。とてもおいしかったです。
- ・ランチタイムでの珍しいパキスタン料理？楽しかったです!! (笑)

札幌ホームステイ協会より

今年度も札幌ホームステイ協会の活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございました。副会長として皆さまと一緒にできましたことに、心より感謝申し上げます。7月には日本文化体験交流会を開催し、浴衣や、茶道など日本の魅力を体験していただきました。会員の皆さまと準備を進める時間もとても楽しく、交流の温かさをあらためて感じるひとときとなりました。また10月には札幌マスジドを訪問し、イスラム文化に触れる貴重な機会となりました。多様な価値観を尊重し合うことの大切さを学び、心豊かな交流の時間を共有することができました。国際交流は“心のかけはし”を築く活動です。皆さまのお力添えがあってこそ続けられるものです。来年度もさらに交流の輪が広がることを願い、引き続きどうぞよろしくお願いいたします。

副会長 岡林 裕之

札幌国際プラザより

新年おめでとうございます。本年が皆さまにとってより良い一年になりますよう、職員一同お祈り申し上げます。札幌市に住む外国人の数は、令和7年11月時点23,290人と過去最多を更新しました。出身地も様々ですし、働く人、勉強する人、帯同家族など住む理由も様々ですが、言葉や文化の違いにより、壁が生じることがあります。誰もが安心して生き生きと暮らせる街・札幌を目指し、国際プラザは引き続き努力して参りますので、ホームステイボランティアの皆さまにも、ホームステイ/ビジットの受入れを通じて多文化共生の街づくりの一翼を担っていただけると嬉しく思います。

私流ゲストのおもてなし（北区 Mさん）

ゲストへの「おもてなし」これは私たちが日本人だから考えるのかもしれませんが。娘が小学生の時カナダにホームステイしたことがあります。ホストファミリーは娘をお客様扱いするわけではなく家族と同じく普通に接していたようです。特別なことがなくても、娘は楽しかったよと・・・異国の地で普通の暮らしを体験するだけで満足したようです。

そんなに気を遣わなくても良いのだと思いながらも、ゲストをお迎えする時はついあれこれと欲張ってしまいます。特にご飯はどうしようかと悩みますが、食に興味津々の女の子たちとスーパーマーケットに行って日本の食材を買いお料理も一緒に作ります。ボストンから来た女の子には生寿司の握り方を、韓国の女の子には稲荷寿司を教えてあげました。二人とも意外と簡単にできるのねと、とても喜んでくれて自分で作ると人一倍美味しいわと満足気でした。

お料理はゲストの人柄を知ることができ、さらに親しくなるきっかけになるのではと思います。



編集後記（広報幹事 山本 紀美代）

2回のイベントを通してたくさんの学びや楽しい時間がありました。みなさんにその一端をお伝えすることが出来たら嬉しいです。今年もみなさんにとって、良いお年でありますように！

-ホームステイボランティア登録、ホームステイ受入に関するお問合せ-

（公財）札幌国際プラザ（札幌市中央区北1条西3丁目札幌MNビル3F）

✉ homestay@plaza-sapporo.or.jp ☎ 011-211-2105 FAX: 011-211-3673

🌐 http://www.plaza-sapporo.or.jp/citizen_j/volunteer/homestay.html

-札幌ホームステイ協会の活動や「かけはし」に関するお問合せ-

札幌ホームステイ協会（札幌市中央区北1条西3丁目札幌MNビル3F 札幌国際プラザ内）

✉ sapporo_homestay@yahoo.co.jp ☎ 011-211-2105 ※国際プラザの担当者に繋がります。